

# ICT利活用に向けたJ:COMの取組

2008年 2月21日

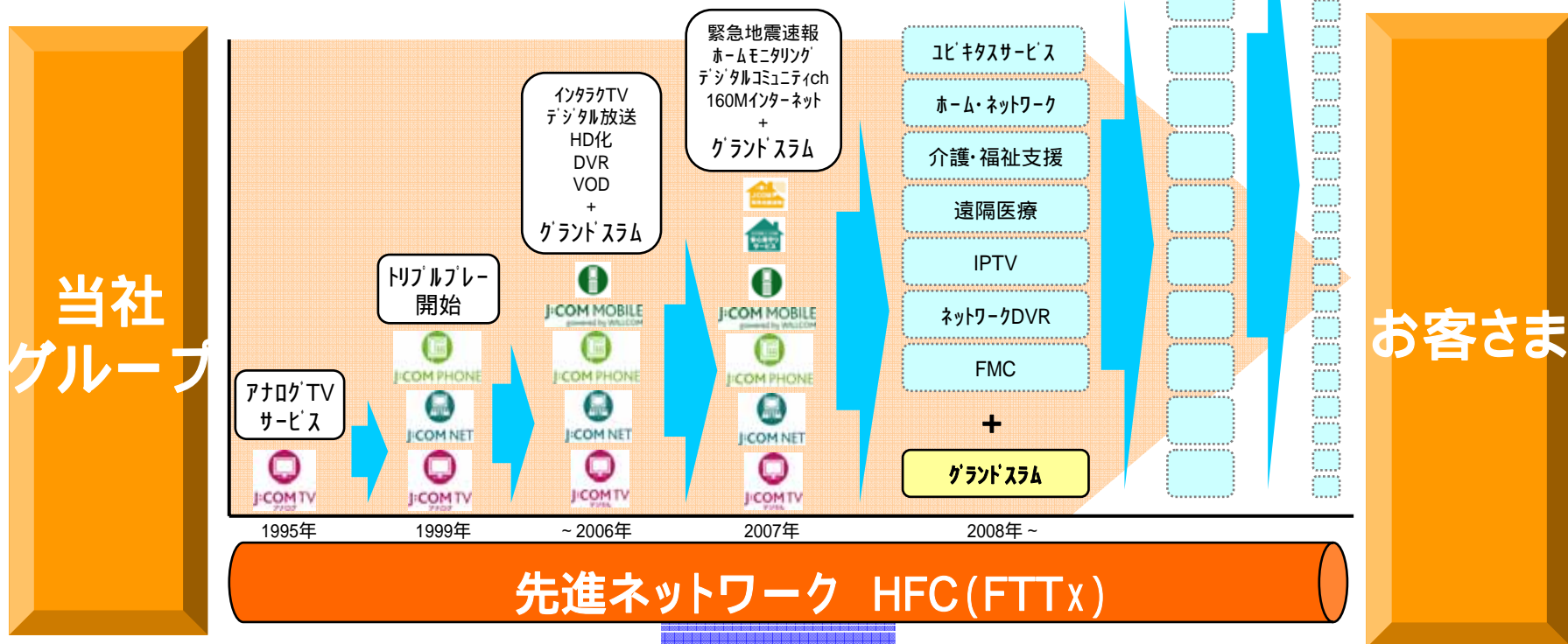
株式会社ジュピターテレコム

取締役 グループ戦略部門担当

加藤 徹

# J:COMグループの目指す事業展開

各家庭までつながった当社の先進ネットワークをとおして、お客さまのニーズに応えた良質な商品を提供することにより、お客さまに豊かな生活を実感いただくこと



お客さまの豊かな生活の実感



事業者

# ICT利活用を促進するインフラのあり方

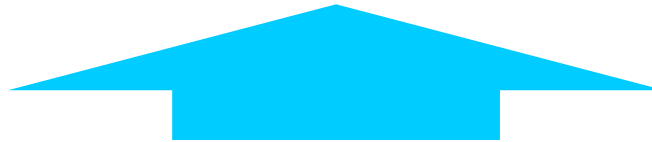
ICT利活用促進のためには、健全な競争環境のもと、ブロードバンドアクセスネットワークが整備され、良質かつ適正な価格で提供されることが基本



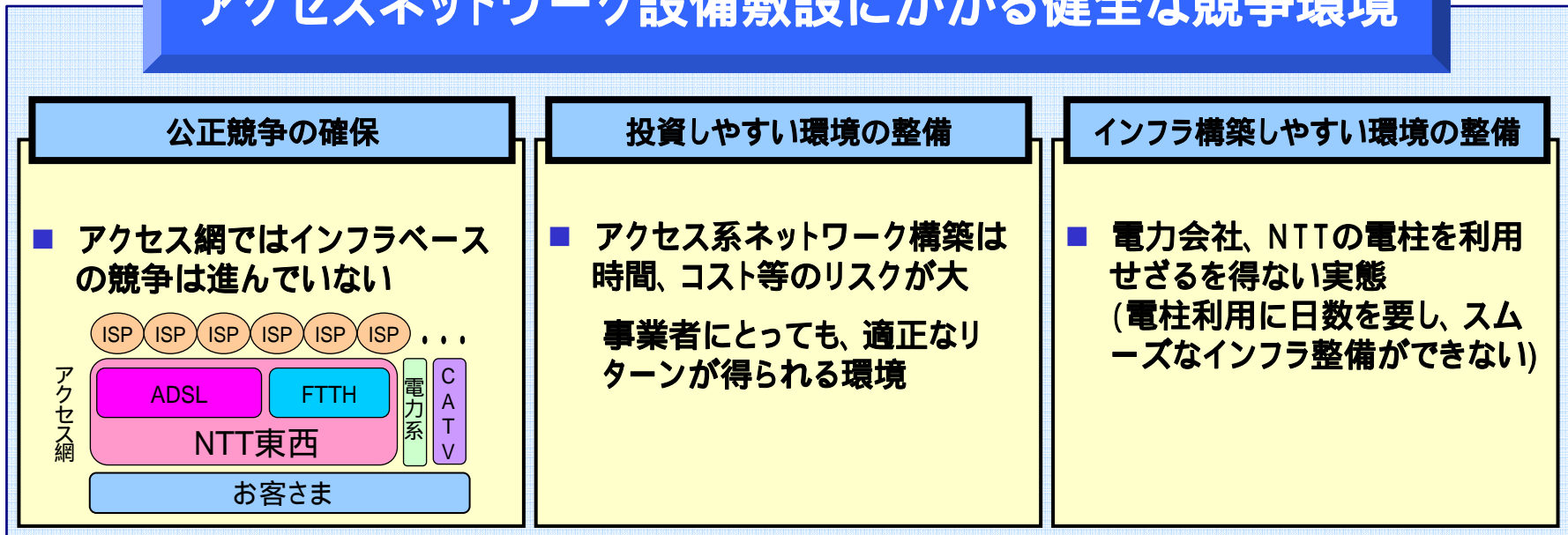
良質かつ適正な提供価格



お客さま

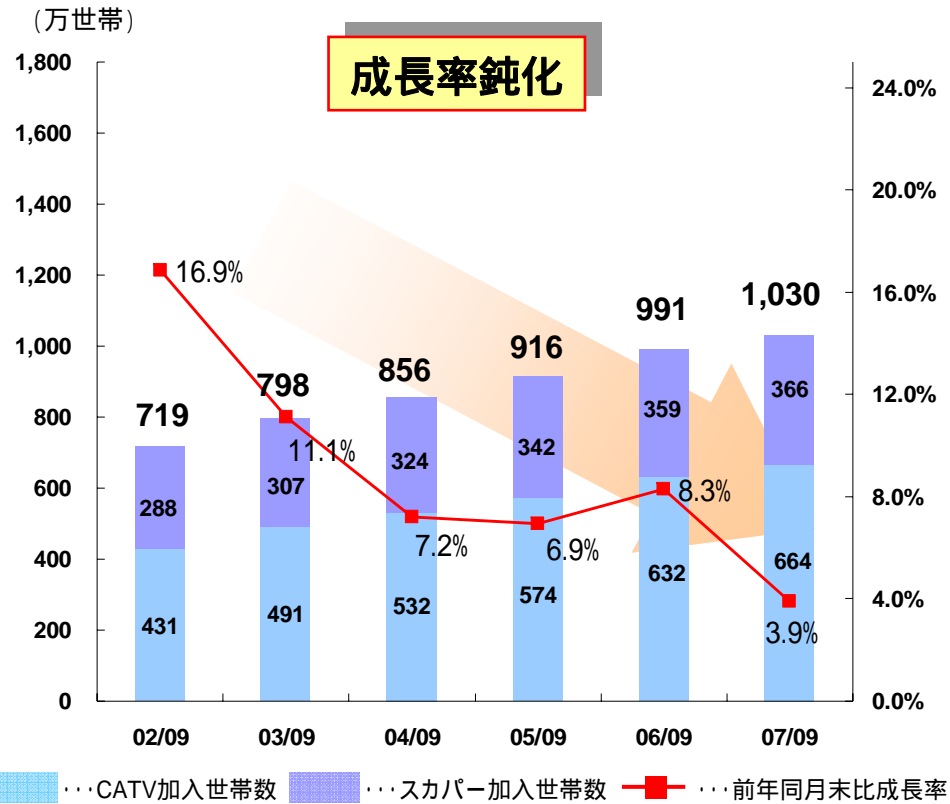


## アクセスネットワーク設備敷設にかかる健全な競争環境



# 有料多チャンネル放送市場の現状

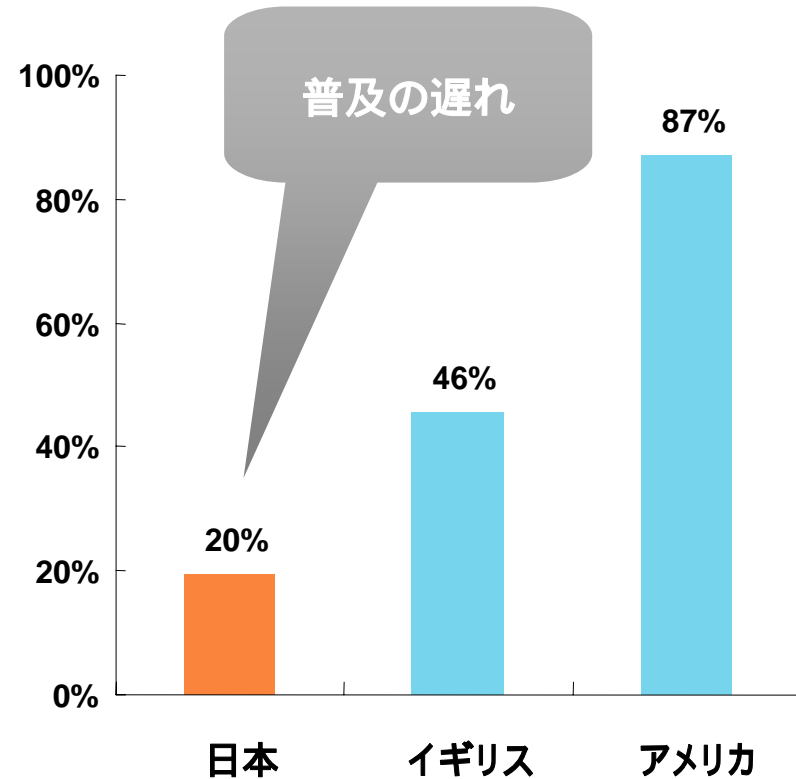
## 有料多チャンネル放送市場



注1: ケーブルテレビ加入世帯数及びスカイパーフェクトTV!個人契約数の合計

出所: 放送ジャーナル(2007年12月号)、スカパーJSAT(株)公表資料

## 有料多チャンネル放送普及率



出所:

日本の普及率データ: 2007年3月末時点。放送ジャーナル(2007年6月号)及びスカパーフェクト会社資料より。多チャンネル有料放送加入者数は、ケーブルテレビ多チャンネル契約世帯数+スカイパーフェクト個人契約者数と定義。

米国の普及率データ: 2007年6月末時点。National Cable & Telecommunications Association。

英国の普及率データ: 2007年6月末時点。Office of Communications。

# 有料放送市場の課題・背景・対策

## 課題

魅力あるコンテンツの不足

## 背景

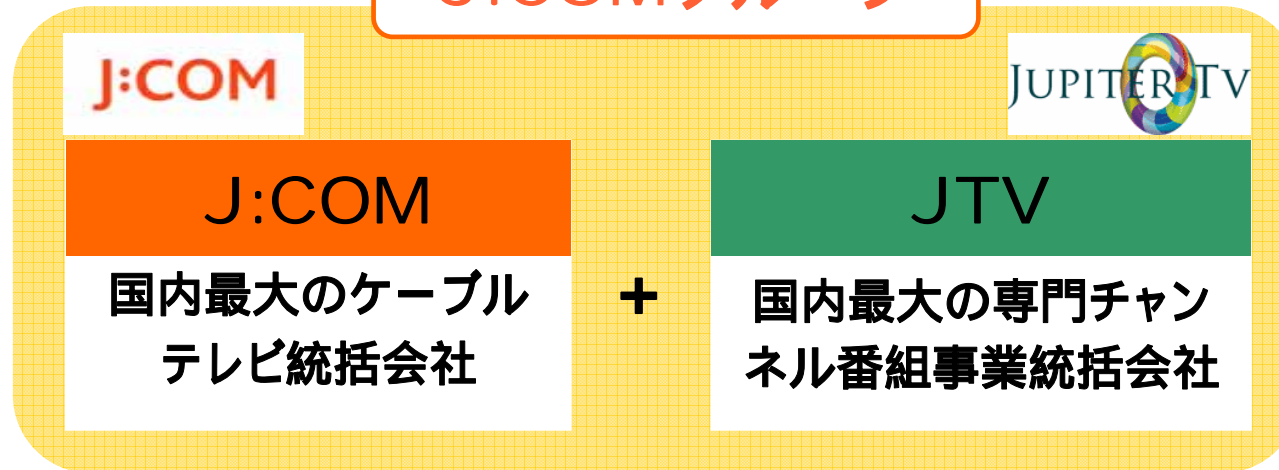
- ◆ コンテンツ会社の小規模・多数乱立（約100社・約200ch）
- ◆ 著作権上の問題（新しいメディアに対する保守的な慣習）

## 対策

- ◆ **コンテンツ会社の合従連衡促進**  
番組制作に大規模な資金が流入する構造への変革
- ◆ **新たなサービスの積極的な展開**  
HD・VOD・インタラクTV・ネットワークDVR 等

# 有料放送市場の育成 - J:COMの取組

## J:COMグループ



## 番組の質向上

- 顧客ニーズに合う魅力的な番組制作・編成の実現
- ハイビジョン化及びVODなど、商品力の向上

# ICT利活用の促進に必要な視点

ICT利活用にアナログ的つながりは不可欠

ICTインフラ  
整備

コンテンツ  
整備

お客さまへのアナログ的アプローチ  
(J:COMの取組)

人と人とのつながり

■ メディアプランナー

- ・ Face to Faceの関係
- ・ いきいきプロジェクト(PC教室等)



地域社会一体となった取組

■ 地域情報の充実

- ・ コミュニティch、インタラクTV、FOD、マガジン

■ 地域イベントへの貢献

- ・ 防犯パトロール、札幌雪まつり等



ICT  
利活用

||

豊かな  
生活の実感